



令和8年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和8年8月14日

上場会社名 株式会社東京一番フーズ 上場取引所 東
コード番号 3067 URL <https://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 大地
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 荒川 健人 (TEL) 03-5363-2132
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年9月期第3四半期の連結業績(令和7年10月1日~令和8年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年9月期第3四半期	5,603	△1.4	245	2.3	300	13.9	167	△4.3
7年9月期第3四半期	5,684	△3.5	240	△24.1	263	△21.8	175	△33.9

(注) 包括利益 8年9月期第3四半期 194百万円(8.2%) 7年9月期第3四半期 179百万円(△38.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年9月期第3四半期	18.81	—
7年9月期第3四半期	19.69	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年9月期第3四半期	5,752	1,880	31.6
7年9月期	5,605	1,670	28.9

(参考) 自己資本 8年9月期第3四半期 1,817百万円 7年9月期 1,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
8年9月期	—	0.00	—		
8年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年9月期の連結業績予想(令和7年10月1日~令和8年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,348	1.3	231	18.3	206	11.2	115	52.0
								12.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

8年9月期3Q	9,030,100株	7年9月期	9,030,100株
8年9月期3Q	102,667株	7年9月期	106,472株
8年9月期3Q	8,927,205株	7年9月期3Q	8,918,474株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループは、飲食事業を起点に、卸売事業、加工事業、養殖事業を垂直に展開する6次産業化を推進しております。同推進により、SCM（サプライチェーンマネジメント）の構築を含めた垂直統合型の総合水産企業の構築・発展を行い、グループ飲食店舗のお客様、外販先（飲食業者、小売業者、卸売業者等）、養殖事業の現場も含めた一体となった情報管理が可能になります。その結果として、すべての事業においてお客様視点からの生産・物流等の業務の改善、イノベーションの推進による新たな価値の創造につながります。

当社グループの飲食事業におきましては、国内のみならず、ポテンシャルの高い海外市場にも引き続き目を向けており、2026年5月には米国2店舗目も開業いたしました。

当第3四半期連結累計期間において、連結売上高は前年から微減であるものの店舗オペレーション改善や養殖事業を通じた原価抑制などの影響等により、営業利益等は微増いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高56億3百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益2億45百万円（前年同期比2.3%増）、経常利益3億円（前年同期比13.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億67百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における、各セグメントの業績は、次のとおりであります。

（飲食事業）

「泳ぎとらふぐ料理専門店とらふぐ亭」においては、子会社である（株）長崎ファームとの連携により安定供給される自社ブランド食材により、仕入原価安定化に寄与しております。

「寿し常」においても、事業譲受以来行ってきた不採算店舗整理によって収益性を高めてきました。また、「とらふぐ亭」と同様に（株）長崎ファームとの連携による食材の安定供給による仕入原価安定化を図っております。

海外店舗である「WOKUNI」において、特に1号店については賃金と諸物価高騰に加えて現地における税制改正内容についての不透明さが生じる中でも連結利益に寄与しております。また、2026年5月に開店した2号店についても開店直後の販売促進活動や広告宣伝費用に伴う初期費用が発生するものの徐々に認知を得ている状況です。

飲食事業における共通の取り組みとして、養殖事業を用いた原価管理・安定化のみならず店舗オペレーションや店舗毎の最適人員体制整備についての改善を行っており、特に国内既存店舗において人件費率及び原価率改善に寄与しております。当第3四半期連結累計期間においては人件費率及び原価率改善影響と海外店舗における初期費用影響が相殺しある帰結となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における飲食事業は、売上高49億38百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益2億円（前年同期比28.0%減）となりました。

（外販事業）

養殖事業においては、平戸養殖場における「平戸本まぐろ極海一番」の養殖において、より大型の個体の生育を目指し、生産・出荷数のコントロール並びに研究開発を行っており、中量級以上の出荷が増加傾向にあります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における外販事業は、売上高6億22百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益47百万円（前年同期はセグメント損失48百万円）となりました。

（不動産賃貸事業）

不動産賃貸事業においては、東京都を中心とした居住用・事業用不動産についての賃貸が拡大しております。特に2025年9月期下期に完成、賃貸を開始した物件については入居率が上昇しており当期においては収益が帰属する期間が拡大しております。

当第3四半期連結累計期間における不動産賃貸事業は、売上高1億3百万円（前年同期比368.6%増）、セグメント利益55百万円（前年同期比416.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて8億47百万円減少し、20億38百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加2億45百万円、売掛金の減少46百万円、仕掛品の減少85百万円及び前渡金の減少9億61百万円となります。

(固定資産)

固定資産は前連結会計年度末に比べて9億52百万円増加し、36億27百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物の取得による増加14億86百万円及び建設仮勘定の減少4億12百万円となります。

(繰延資産)

繰延資産は前連結会計年度末に比べて42百万円増加し、86百万円となりました。主な要因は、開業費の計上による増加44百万円及び開業費償却による減少2百万円となります。

(流動負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて31百万円増加し、13億63百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加21百万円となります。

(固定負債)

固定負債は前連結会計年度末に比べて93百万円減少し、25億8百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少80百万円及び資産除去債務の減少20百万円となります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて2億9百万円増加し、18億80百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加1億67百万円となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、飲食店舗においては、魅力のあるメニュー提供とサービス・利便性を強化し、店舗とともに自宅需要を獲得することで、収益の拡大に努めてまいります。また、その基盤となる水産物調達においては、自社養殖のとらふぐや本まぐろを基軸とするSCMの推進による差別化に努め、また、そのスキームを海外における外販事業・卸売事業に展開してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812,591	1,058,075
売掛金	259,288	212,527
仕掛品	611,173	506,315
原材料	109,049	126,012
前渡金	983,665	22,530
その他	110,403	112,824
流動資産合計	2,886,171	2,038,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,960,407	3,431,074
減価償却累計額	△1,382,843	△1,413,484
建物及び構築物（純額）	577,564	2,017,589
機械装置及び運搬具	123,901	116,406
減価償却累計額	△77,906	△80,102
機械装置及び運搬具（純額）	45,994	36,304
工具、器具及び備品	556,779	548,566
減価償却累計額	△452,642	△455,925
工具、器具及び備品（純額）	104,136	92,640
土地	889,517	904,387
建設仮勘定	412,459	-
有形固定資産合計	2,029,672	3,050,921
無形固定資産		
ソフトウェア	27,392	19,376
無形固定資産合計	27,392	19,376
投資その他の資産		
敷金及び保証金	459,354	443,896
破産更生債権等	28,490	18,280
繰延税金資産	35,952	33,142
その他	188,534	150,173
貸倒引当金	△94,232	△87,916
投資その他の資産合計	618,099	557,577
固定資産合計	2,675,164	3,627,875
繰延資産		
開業費	44,220	86,689
繰延資産合計	44,220	86,689
資産合計	5,605,557	5,752,851

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,917	168,346
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	471,776	474,151
未払金	229,007	222,164
未払法人税等	91,385	79,099
資産除去債務	51,824	41,076
その他	91,446	129,030
流動負債合計	1,332,356	1,363,869
固定負債		
長期借入金	2,368,618	2,288,169
資産除去債務	184,068	163,654
繰延税金負債	17,568	23,639
その他	32,199	33,072
固定負債合計	2,602,454	2,508,535
負債合計	3,934,811	3,872,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,450	530,450
資本剰余金	440,134	440,303
利益剰余金	679,007	846,755
自己株式	△46,085	△43,953
株主資本合計	1,603,507	1,773,555
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,372	43,656
その他の包括利益累計額合計	17,372	43,656
新株予約権	49,865	63,233
純資産合計	1,670,745	1,880,445
負債純資産合計	5,605,557	5,752,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年6月30日)
売上高	5,684,093	5,603,130
売上原価	2,117,056	2,037,462
売上総利益	3,567,036	3,565,667
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	851,092	790,206
雑給	487,267	505,139
販売促進費	84,425	84,158
地代家賃	585,035	537,599
減価償却費	59,605	60,552
その他	1,259,384	1,342,314
販売費及び一般管理費合計	3,326,810	3,319,971
営業利益	240,226	245,696
営業外収益		
受取利息	1,034	772
協賛金収入	2,396	2,495
為替差益	-	24,385
賞与引当金戻入額	1,048	-
助成金収入	42,288	40,544
その他	10,083	28,838
営業外収益合計	56,851	97,035
営業外費用		
支払利息	17,563	38,067
為替差損	10,700	-
開業費償却	-	2,989
その他	4,838	899
営業外費用合計	33,101	41,956
経常利益	263,975	300,775

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	191	254
新株予約権戻入益	10,246	70
特別利益合計	10,438	324
特別損失		
固定資産除却損	1,687	2,706
減損損失	26,914	-
特別損失合計	28,601	2,706
税金等調整前四半期純利益	245,812	298,393
法人税、住民税及び事業税	76,913	121,573
法人税等調整額	△6,674	8,881
法人税等合計	70,239	130,454
四半期純利益	175,572	167,938
親会社株主に帰属する四半期純利益	175,572	167,938

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年6月30日)
四半期純利益	175,572	167,938
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,860	26,284
その他の包括利益合計	3,860	26,284
四半期包括利益	179,433	194,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,433	194,222
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 令和6年10月1日 至 令和7年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	飲食事業	外販事業	不動産賃貸 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	5,042,258	619,759	22,074	5,684,093	—	—	5,684,093
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,042,258	619,759	22,074	5,684,093	—	—	5,684,093
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	278,708	△48,399	10,834	241,142	—	△916	240,226

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△916千円は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 令和7年10月1日 至 令和8年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	飲食事業	外販事業	不動産賃貸 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	4,938,252	622,295	42,581	5,603,130	—	—	5,603,130
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	60,851	60,851	—	—	60,851
計	4,938,252	622,295	103,432	5,663,981	—	—	5,663,981
セグメント利益	200,777	47,885	55,969	304,632	—	△58,935	245,696

(注) 1. セグメント利益の調整額△58,935千円は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年10月1日 至 令和7年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年10月1日 至 令和8年6月30日)
減価償却費	90,441千円	127,272千円